

広告

# 年刊アカツキ 2021

ほちほち そいそい ぐんぐん  
いっこの間にやらは ほぼ十年です



関係団体の活動紹介

～北は北海道、南は長崎～

お便りページ

「私を元気にしてくれる●●」



立ち止まるから、見つかる。

立ち止まり対話するための助成金・

AKBN (アケボノ) ファンドでは、

現在、パートナーを探しています。

一つ目は、大口寄付者。

二つ目は、プログラムの運営者。

全国から多数の助成申請を頂いていますが、その採択率は5倍超と、需要に対して供給が追いついていない状況です。

もし、大口の寄付を考えている、

または、自組織でAKBNファンドの

ような助成プログラムを始めてみたい

という方は、ぜひ一報ください。

これまでに私たちがヒアリングや

議論、実践で積み上げてきた知見、

ノウハウは、全て無償で公開いたします。

もっと前に、もっと大きく、もっと速くと

常に何かにせき立てられる社会の中で、

ちよつと待つてよが言える力を、ここから。

認定 NPO 法人アカツキ

〒 812-0013 福岡市博多区博多駅東 1 丁目 4-1 中良ビル 505 号室

E-mail : info@aka-tsuki.org Web : https://aka-tsuki.org/



# “偏愛”から役員・職員を紹介する

— あなたの好きなものは何ですか？ —

偏愛とは、“特定のモノやコトへの強烈な愛”。自分自身の偏愛に気付くとともに、さまざまな人の偏愛に触れることで生き方の多様さに気づくのではないのでしょうか。ようこそ偏愛の世界へ。

**私**は、うさこが好きです。

「うさこ」とは、オランダ生まれのうさぎの女の子。ディック・ブルーナさんが描いた絵本のキャラクター。そう、いわゆるミッフィーです。日本で出版された際に「うさこちゃん」と名付けられたので、絵本から入った人は「うさこちゃん」と呼ぶ人が多い気がします。

私とうさこちゃんとの付き合いは、実年齢と同じ。私が生まれた時に、母の友人が絵本をプレゼントしてくれました。司書をしていた友人は、当時出版されたばかりのおすすめの絵本ということで、うさこちゃんシリーズを4冊。他にも「ねずみくんシリーズ」と、「はらぺこあおむし」をいただきました。

ちなみに、うさこちゃん生誕55年の展覧会の際に、「はらぺこあおむし」の作者エリック・カールさんが、あおむしくんとうさこちゃんが描かれたイラストを提供していました。そこに「Love you」「I know」と書かれていたのを見て、猛烈に感動したことを覚えています。思わず図録を買ってしまいました。

6月は、うさこちゃんの誕生日。今年も長崎のハウステンボスにお祝いに行ってきました。いつかは、うさこちゃんの生まれ故郷のオランダにも行きたいと思っています。レンブラントの「夜警」もあわせて見てみたい。



アカツキ理事・職員

そうそう、アカツキの事務所には、リラックマがあふれてますが、うさこちゃんの生息域も徐々に増やしていますよ！こんなふうに偏愛ともいえる「好きなもの」を尋ねることで、その人の一面を知るきっかけにもなるのではないかと。そう考え、次ページでは、最近アカツキに加わった役員・職員が「偏愛」という切り口で自己紹介します。そして今回の年次報告書は、ブルーナ・カラーといわれる6色をメインに作成してみました!!

(アカツキ職員 白神加奈子)

おしながき							
新役員／職員紹介	関係団体紹介	ふりかえり評価	AKBNファンド	支援者からのお便り	財務報告	オンライン配信企画	ご支援のお礼
1-2	3-4	5-6	7-8	9-10	11-12	13	14

**し**んには、生まれも育ちも博多っ子！昨年よりアカツキの理事を務めさせていただいております岩橋真一郎と申します。とはいえ、理事らしいことはまだまだ何も出来ておらず、1年経過した今でも皆さんの話についていくのが精一杯です。

そんな私の好きなもの。乗り物、植物、インテリア、食器、フィギュア、メダカ等色々あるのですが、今回は私の日々の癒しとなっている猫です。

ウチには「きなこ」という三毛猫がいます。この子との出会いは約5年前、まだ目も開いておらず、生まれて間も

ない時に、自宅ガレージの隅で震えていたのを保護しました。



性格はマイペース過ぎず割と人を見て行動する子で、寂しがり屋のクセにそんなに甘えてこないところ、そして意外とドジ。キャットフード以外絶対に口にしないところなんて僕には無理です。元々好きだった猫と一緒に生活をする事で、益々猫の魅力にハマってしまいました。もう今ではなくてはならない存在、大事な家族ですね。

## 理事 岩橋 真一郎

**理**事の小淵（鳥居）亜佑美と申します。アカツキには、学生時代のインターンをきっかけに、これまでサポーター会員として関わってきました。普段は会社員ですが、「自分が責任を持つて組織を経営する立場に立ってみたい」「アカツキに寄付から一歩踏み込んで関わってみたい」という思いがあり、一昨年から理事として参加させていただいています。

公演等に足を運びました。AKBは元々「会いに行けるアイドル」というコンセプトですが、私は会うことやグッズを集めることよりも、パフォーマンスを観ることに全力を注ぎます。推しの光る瞬間を味わうため、一度気になった動画は好きなカットを目に焼き付けるまで、何十回でも観ます。（家族には理解できないようです）一度はまったりとことんのめり込む性格を、他のことに活かせないかなあと思う今日この頃です。



## 理事 小淵 亜佑美

**非**営利組織の職員として10年超勤めた後、ベンチャー企業を経て、現在は税理士法人で経理の仕事をしています。一時期、理事としてNPO法人に所属していたことがあり、その頃からアカツキさんには色々とお世話になっていました。そのご縁もあって今回監事のお声掛けを頂き、私としても現在の仕事の知識や経験を活かすことができたらと思います、お引受けした次第です。バックオフィス、特に経理業務はある程度の知識が必要で、かつ煩雑なため後回しにされがちですが、「法人」である以上ルールと法に則って適



## 監事 牧園 祐也

**職**員2年目の日隈です。大分を拠点に主にオンラインスタッフとして動いております。

さて、早速ですが、温泉に行ったりすると、密かにやるがあります。それは、「今日はどの『素数』のロッカーにしようかな」と考えること。

パシッといつも通り入るなら、「7、11、13」。ちよつとゆつくりめにサウナとかも楽しんでみようか、と考える時は「53、73」。

他にも、運転中に見つけるナンバープレートと数字の組み合わせ。意味のない組み合わせが偶然素数の組み合わせだったり、記念日かな、誕生日かな、



## 職員 日隈 諒

切に処理されなければなりません。裏側からアカツキの活動を見つめ、支えるような気持ちで監事を務めたいと思っています。

以前住んでいた家の近くに小さいけれどセンスの光る文房具屋さんがあり、そのお店で不定期に販売されているレモンケーキを食べてからレモンケーキを偏愛するようになりました。好きな紅茶との相性が良いのも、偏愛理由の一つかもしれません。

数字は本来無機質なものの。だけれど、語呂合わせで意味が生まれたり、自分の誕生日のナンバーを見ると少しラッキーだと感じたりする。

そんな僕の部屋番号は「101」、車のナンバーは、「1129」。

# アカツキが一緒している団体の紹介

今回は、アカツキの関わりや支援施策を説明するのではなく、関わっている現場 NPO が、どのような理念を持ち、日々の活動を行なっているかをご紹介します。

## 京都 で「組織コンサルティング」

### 京都自死・自殺相談センター



広報発信 FR 委員長  
なかがわ ゆい  
中川 結幾さん

#### そっと側にいる

京都自死・自殺相談センターは生きづらい思いや死にたいほどの悩みを抱える方の声に耳を傾けたいと願うボランティアとその活動を支援する多くの方々との協力によって、2010年に設立した団体です。

「そっと側にいる」という意味を込めて愛称を S o t t o (ソット)といます。S o t t o では、気持ちのやり場がなく抱えきれない苦しさを、受け取って関わることができるように、メールや電話での相談、「おでんの会」



や「ごろごろシネマ」といった対面での居場所づくり、大切な人を自死で亡くした方のための個別面談等おこなっています。

「どんな言葉をかけるのかではなく、その時どんな関係でいられたのか」これは私が相談活動のなかで大切にしている姿勢です。死にたい気持ちになったとき、自分の気持ちをそのまま話せる場所。存在そのものをまるっと認めて、そばにいてくれる、そんな味方がいる場所にはいつも何かが生まれてくるように感じます。

## 共同体 で NPO センターを運営

### ワーカーズユープ



福岡支部 職員  
なかしま みほ  
中島 美穂さん

#### 相手を知らうという気持ち

2021年度よりアカツキさんとの共同体で、福岡県 NPO・ボランティアセンター事業を受託し、窓口業務を担当しています。お互いが役割を理解し、コミュニケーションと情報共有を重視することで強みを活かし、苦手をフォローし合いながら連携することができています。

センターの窓口業務は、NPO 法人の各種手続きやボランティアに関する相談、機器や会議室の利用、個別相談の受付など…。その他にも「NPOに相談すれば助けてもらえる」という認識のもと、暮らしの悩みや生活困窮など、行き場をなくした方からの相談もあります。私たちが



相談業務で心掛けていることは「相手を知らう」という気持ちです。対応できることには限界がありますが、モヤモヤを抱えることにもありますが、社会的課題を拾い上げることにも窓口業務の大切な役割だと考えています。これらの業務で得られた気付きや経験をワーカーズユープの社会的課題の解決を目的とした働く場を創造する「仕事おこし」にも活かし、2022年10月に施行される「労働者協同組合法」に基づく新たな組織形態の推進に寄与できればと思っています。

## 長崎 で「事業の伴走支援」

### 子どもの権利オンブズ パーソンながさき



代表理事  
あきやま よしひこ  
古豊 慶彦さん

#### とにかく目の前にいる人の話を聞く、その意味は後で

当団体は子どもの権利侵害等の解消を目指し相談支援や関係調整を行う「個別救済」、子どもに関する制度等について関係機関等にはたらきかける「制度改善」の2つを事業の柱としている。

よく来たねという私の言葉に「誰にも話さないのは」もう限界だった」と話したAさんは不登校中の中2。アニメやゲームについてよく話し、ある時から個人のスマホにプレイしたいゲームをダウンロードしはじめ、32GBの容量はパンパンに。

それから3年。移転した当団体の相談窓口は、Aさんの好きなアニメイトまで徒歩5分の位置。Aさんは相談窓口顔を出したのち、ひとり街にくり出し、買った商品、ゲーセンのプライズ、昼食のファストフードなど戦利品を持って戻り、「また来ます」と帰っていく。

Aさんにとって、ここはどんな風に見えるのか。何を思ふと考える時、まずはとにかく目の前にいる人の話を聞こう、その意味は後でじっくり考えようと思う。



#### 誰もがこのまちで心豊かに暮らせる

私たちが目指しているのは「子どもを真ん中に、誰もが心豊かに育ち合える場所」です。

1973年「十勝おやこ劇場」設立から、1988年「帯広西おやこ劇場」分割設立を経て、2006年に現在の名称で法人化しました。50周年を目前にした私たちは、これまで子育て親育ちに関する様々な地域の課題と向き合いながら、子どもの体験活動（プロアーティストによる芸術鑑賞、森のあそび場づくり、キャンプ等）や子育て支援活動（ファミリーサポートセンター事

業受託、プレイセンターにじっこ等を展開してきました。半世紀にわたり積み上げてきた大切なことは、「あそぶ」「やりたい」から始まるすべてのこと、「共感する」人と人との関りの中で、他者の感情に寄り添うこと、「つながる」ゆるやかに支え合える関係性の中に居場所があること、に集約されています。誰一人取り残されず、子どもたちが最善の利益を守られながら、このまちで心豊かに暮らせる社会の実現のために活動しています。

## 北海道 で「ふりかえり評価」

### 子どもと文化のひろば ぶれいおん・とかち



事務局スタッフ、副理事長  
しづまの なつみ  
嶋野 奈津美さん



<インタビュー>

ふりかえり評価チーム  
小池さんと鈴木さんに聞く

## アカツキと協働すると仕事が減る！？

聞き手：日隈諒（アカツキ職員）



鈴木綾さん（写真右）  
小池達也さん（写真右から2番目）

「アカツキと協働する上で面倒くさいことはありましたか。」

小池：ディスカッションをしなければ先に進めないんです。仮に自分一人でやれば、クオリティは全然違うけど早くできる。進め方も勝手に作業を進めて、それに意見をくださいって話ではないので、ディスカッションありき。僕は黙々と作業をするのが好きなんですけど、それを許されたのは報告書の時のみでした（笑）。鈴木：プロジェクトの中で「何を求められているんだろ？」と考えていた時期はありますね。評価の専門家でもないのに、いろいろな現場で聞く声や、その事をふりかえり評価にどう反映するかで考えています。「こんな評価は嫌だな」とか「これは役に立つな」とかを声を頼りに思案する役割を果たそうか、と今は思っています。

「ふりかえり評価に取り組んで変化したことはありますか。」

小池：僕は評価士の資格を持っているんですけど、ふりかえり評価では支援者の既得権益を作らないという原則を決めていたので、この資格使えないなど。他から評価士の誘いが

織の困りごととは全て一気に解決して資金も集まる！」といった結末を迎えないことです。これは、商品やサービスをアピールして売るための一般的な広告マンガとは、逆の見せ方と言えるでしょう。

また、登場人物にかかるジェンダー・バイアス（性差別あるいは役割の固定化）やルッキズム（外見至上主義）、当事者のステイグマ（偏見による負の烙印）などについても、一つひとつ、細かく検証を繰り返しました。端的に言えば、「若くて可愛いけどちょっとドジな女の子が、イケメンやダンディなおじさまの指導を受け、周囲にイジられるながらも努力して成長して、可哀想な人を助け短期的に成功する物語」にはしたくなかった、ということ。様々な角度からの配慮要望に、丁寧にご対応くださいました晃幹人さんには、心から感謝申し上げます。

あっても、「なんかなあ〜」って悩んで断ったりとか。仕事の幅が狭くなってるかも。でもそれはポジティブに捉えています。鈴木：ミーティングの中で語られたアカツキの主体同士の信頼関係と緊張関係を作り出す組織論は、非常に勉強になりました。緊張関係は悪いみたいな先入観があった。ただ組織の自浄作用を生み出したりと良い面に気付かされています。参加しているプロジェクトは信頼関係がベースにあるけど、委員会を作ったり外部に緊張関係をつくる仕組みがありますね、それも勉強になっています。

### 【ふりかえり評価】

岐阜の小池達也さん（一般社団法人よだか総合研究所）、福島の鈴木綾さん（こおりやま子ども若者ネット）、そしてアカツキの三者共同で進めている「ふりかえり評価」。一人ひとりが自分の価値観をふりかえり、対話を通じて共有し、重なり合う/合わない範囲を探していくようなNPO 評価の手法を開発しています。今回は、その取り組みのプロセスで、アカツキとの協働を通じて感じたことをインタビューとしてお聞きしました。



全10回、1回15分程度の短いラジオトークで気軽に「ふりかえり評価」に触れていただけます！アカツキからの話し手は「ピンボール永田」と「プレイバックなおこ」



福岡県NPO・ボランティアセンターとの協働で制作・発行しました。

### コラム

## 表現の留意点

永田賢介（アカツキ理事・職員）

アカツキでは「なぜ、ふりかえり評価が必要なのか？」という問いに、今までとは違う形でもお応えするべく、福岡県との協働事業において「マンガで解説!!ふりかえり評価」を制作し、公開いたしました。なおマンガは、プロの広告漫画家である晃幹人さんに制作いただき、NPOの活動の現場についての描写やセリフについては、フリースクール運営NPO2団体のアドバイスを頂戴しながら進めました。

今回の制作にあたって私たちが注意を払ったのは、それだけではありません。例えば、ストーリーが過剰なご都合主義に陥らないこと、つま



続きはこちらから



# 立ち止まり対話するための助成金 AKBNファンด์

## AKBNファンด์の 取り組みと審査の工夫

AKBNファンด์5期目となる2022年度は、公募対象の地域や法人格の条件を緩和したためか、これまでよりずっと多くのご応募を頂きました。そのため、応募書の記載事項をもとに審査委員と確認し、事務局にて、書面による一次審査を実施しました。

続く二次審査は、ほぼ1日かけて助成応募団体に対するヒアリングを行いました。「プレゼン」ではなく「ヒアリング」なのは、団体の良い面や強みだけでなく、

団体内で今どんなことが気になっているのか、苦手なことなども含めて、率直にお聞かせ頂きたいからです。2次審査まで進み採択されなかった団体にも、選考終了後にフィードバックを通知しています。

審査委員はアカツキのコンサルティングを受けたことのあるNPO職員、一般企業で働く会社員、LGBT・ひとり親・発達障害等マイノリティ属性の視点を持つ者、アカツキ職員からなる4名で構成されています。「当事者こそが有識者」という視点でお願いし、助成プログラムを運営しています。

## それぞれのペースで それぞれのやり方で

NPO 法人 ALLOK



アケボノファンドの用途は、アカツキコンサルでのビジョン、ミッションの明文化。「オンラインOK会」5回開催された「OK会」では、初回からメンバーの活発な発言にビックリしました。

例えるとするなら、「私は前に進みたいのに、みんなは隣を、まずは横を確認したい」。毎回、雪松さんと日隈さんの細かい、丁寧な、鋭い質問や意識の確認作業に何度も悲鳴を上げそうになりながら、オンライン、グループLINEでのやりとりでした。回を重ねる毎に、メンバー内で新しい発見や疑問が出てきたり、

各自で連絡取り合ったりと進展が見られ、「オンラインって便利だ！」参加できない場合は録画もできるし、気になる部分は後で確認できるし、夜なら参加しやすいな、と利便性を実感。

「NPOだから」「ALLOKだから」などと無理にカタチに嵌めることなく、急がず慌てずそれぞれのペースで、それぞれのやり方で、同じ方向に向かっているならばALLOK！そんな根拠が認識できたスタート準備期間だったと思います。

## インタビュー AKBNファンด์審査委員 に伺いました

「私が審査すると言う立場にあっているのかな」というのが率直な気持ちでした。でも審査は「良い、悪い」ではなく、「AKBNファンด์の審査基準に合っているかどうか」で判断すること、私の立場（マイノリティ）での気づきなどを言ってもらったらいいと言われたことを覚えていきます。

私は普段NPOなどに関わっていないのですが、受益者では見られないNPOの悩みや課題などを知ることができるとは審査会という場だからこそと感じています。AKBNファンด์に応募する団体は、団体内部にモヤモヤを感じて、対話をしなきゃって思っている団体が多いと思います。きっと何かに気づいて何かを感じている人たちなんだと思うので、共感できるし、応援したいと思います。

アカツキは一人の人間として接してくれるのが本当にありがたいですね。

〈聞き手：日隈諒（アカツキ職員）〉

## 第5期（2022年度）採択団体

会員や寄付者の皆様からのご支援を頂き、運営している「立ち止まり対話するための助成金・AKBN（アケボノ）ファンด์」第5期。

Aタイプ「想い」と向き合うには、過去最高の16団体の応募があり、認定NPO法人 マドレポニータ（東京都）、NPO法人森ノオト（神奈川県）、一般社団法人Camp（福岡県）の3団体が採択されました。

Bタイプ：「数字」と向き合うには、3団体の応募があり、一般社団法人ひだまり（福岡県）1団体が採択されました。



## 心の奥底に抱えている想いにお互い気付く

NPO 法人フェロージョブステーション



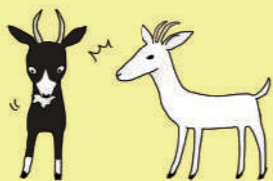
普段の私たちは現場の対応や目の前の仕事にいっぱいいっぱい、先の将来を考える事になかなか時間を費やすことが出来ていない。目の前の仕事を忘れて、みんなで共に過ごしたり語り合うことにとことん集中する2日間。その時間をつくることで、組織として新しい一歩を踏み出した。そんな思いから、経営陣で何度も話し合いを重ね準備をしてきた。

「本当はこんなことに挑戦したいんだ」と、勇気を出して宣言するメンバーもいた。「自分はリーダーとして

力不足なんじゃないか」と、不安を打ち明け涙する役職者もいた。共に働いていると言ってもお互いに状況や立場が違い、悩みも人それぞれ。毎日顔を合わせていたはずの仲間だったが、まだまだ本当の一人ひとりを知らない。心の奥底に抱えている想いにお互い気付くことができ、その後2月に行った方針発表会で、それぞれが与えられた持ち場で自分ができることを真剣に発表するその表情が印象的だった。

## 立ち止まることの意味 2021年度AKBNファンด์採択団体の報告書より

お便りありがとうございます



### 『鎌倉殿の13人』

愚かな悪のアナキスト達による諸行無常の革命史。絶望の日々に乾坤一擲の光を差してくれます。

(白拍子)

『心をととのえるスヌーピー』 私を元気にしてくれる本「心をととのえるスヌーピー」。学生時代に私を元気にしてくれたキャラクターたちが、50年の時を経て再び私に元気をくれていきます。NPOの活動に携わって20数年、この本が自分自身を見つめ直す良い機会になっています。

(むぎこ)

美味しい食事 やはり美味しい食事です。自分で凝った料理を作った時は特に。最近では、オマール海老のパッケージを作ったり、自分で育てたバジルでジェノベーゼソースパスタを作ったりと。のんきになります(笑)

(どめ)

夏のキンッと冷えた白ワイン



(ぼんご)

上を向いて歩く

上を向くと元気が出ます。単に上を向いても退屈ですから、私は風をあげます。昨今のカイトは構造や材料の進化により驚くほど高々とあがります。空を歩く犬と散歩をしているようで、退屈せずに何十分も上を向いて歩くことができます。

指先のマニキュア 指先のマニキュア 10数本ストックからその日の気分で色を選んで無心に塗っているときが楽しいのです。くすみカラー好きのため爪死んでる？とかコケ生えるの？とか言われても気になりません。褒められたらもちろん喜びますので、私に

(くろわっ)

指先のマニキュア

10数本ストックからその日の気分

色を選んで無心に塗っているときが楽しいのです。くすみカラー好きのため爪死んでる？とかコケ生えるの？とか言われても気になりません。褒められたらもちろん喜びますので、私に



(たそ)

アイスクリーム 専門店のアイスから、ハーゲンダッツ、ガリガリくんまで、気になったいろんなアイスを買ってみて自分のその時の推しアイスを見つけるのが大好きです。疲れたとき、ちょっと頑張りたいとき、ただただ暑いとき、色んなアイミングで私を元気にしてくれるものです。

(ねこじゃらし)

生ビール

なんととっても生ビール!

ほどよい苦味と香り、ふわふわの泡に身体中が幸せになります。一度口をつけるとグラスから離れず、ついゴクゴクと…。

会ったら指先のマニキュア見てあげてください。(実家のしばいぬがもう12歳)



## 支援者からのお便りコーナー

今回、「年刊アカツキ(年次報告書)」の中身について、どのような記事を読みたいか? アカツキ正会員のお二人に協力いただき、2回の「さくせんかいぎ」を行いました。

その中で、支援者の皆さんからのおたよりページでは「私を元気にしてくれる〇〇」を募集しようということになりました。テーマに込めたお二人の意図や、ご自身の〇〇もご紹介頂いています。

テーマ

私を元気にしてくれる〇〇

### 家で焼いて食べた塩鮭

いろいろなことがある日々、ときにはチクチクざらざらした気持ちになることもあるのではないのでしょうか。そんなときに皆さんは何(もしくは誰)から元気をもらっていますか?

見ている(聞いている、食べる...etc)だけで癒やされる〇〇、別の世界へ没入させてくれる〇〇、日常の中で纏わされている何かを外してくれる〇〇など、皆さんのことを元気にしてくれる〇〇について聞いてみたいと思い、このお題にしました。

私は先日家で焼いて食べた塩鮭がとてもおいしく、数日の間にあった嫌なことを一旦忘れさせてくれるほど身体全体が「シャケうめえ…」でいっぱいになりました。おいしい塩鮭が家で食べられる間は生きていけそうです。

(ひらめねこ)

### k-pop

「元気にしてくれる“〇〇”」の類の話聞くのがとても好きです。人により対象や程度の差こそあれど、“〇〇”への愛を感じます。“〇〇”の話をしている時、話す人はとても楽しそうで、幸せそうに見えます。話を聞いている間、その幸せをお裾分けしてもらっている気持ちになります。

なので「元気にしてくれる〇〇」を共有すると、みんなで元気になるのではないかと、という期待を込め、この話題を多くの人から聞いてみたいと思いました。

私の〇〇は、「K-pop」です。韓国語のリズムが心地よく、日本語で聞くとこそばゆい、人生を応援する/愛を伝える歌詞も、外国語だと素直に受け取れるため、聞いては、心のコリをほぐしています。

(キバノロ)

財務戦略と中期の方針

2021年度は、8万円の黒字とほぼ収支トントンの結果となりました。また認定NPOのメリットである「みなし寄付」の仕組みを活用し十数万円の節税効果もありました。今後については、トヨタ財団の助成金により一時的に増大していた財政規模をゆるやかに縮小させ、収入内訳では寄付を増やしつつ、毎年の決算を1200万円程度で安定させる方針を立てています。

また、理事会にて第三期中期経営計画（2021～2024）を策定。代表交代からこれから数年間を組織の「変革期」と位置づけており、職員体制についても常勤の有給職員ありきから、ダブルワークやボランティアでの参画体制を意図的に増やしていくことで、事業型ではない、地域の小規模な市民団体もクライアントにできる形を目指しています。

スタッフの知見共有や能力開発に力を入れるため、向こう数年は若干の赤字を予定していますが、これは700万ほどの繰越金を担保できている今だからこそ選択できた意図的投資・経営判断です。

新たな申告納税制度の幕開け

熊谷 朱江子（アカツキ顧問税理士）

令和5年10月1日からのいよいよインボイス制度が導入されるわけですが、実はインボイス事業者の登録は昨年10月1日よりすでに始まっており、登録受付は原則として令和5年3月31日までとなっており、それほど多くの時間はありません。NPO法人の中にはインボイス事業者（適格請求書発行事業者）として登録するかどうか迷っている・いやいや、そもそも制度の概要すら知らないという法人さんもあるのではないかと感じております。

消費税は平成元年に導入されたのですが、導入当時、世間は大変な騒ぎとなっていたことを思い出します。あれから30年後の令和元年に軽減税率が導入され、そして来年インボイス制度で当時の大蔵省の悲願が達成されるのでしょうか。国民は皆等しく税を納めるべしの名のもとに経済取引の一元化へとこれから進んでいくのでしょうか。今年1月に施行された改正電子帳簿保存法、お国の求めるルール変更に合わせて業務の見直し、事務負担、システム対応など課題は満載かもしれません。まさにご利用は計画的にであります。



活動計算書（2021年4月1日～2022年3月31日）

科目		金額（円）	前年比	
経常収益	受取会費	339,000	86%	
	受取寄付金	1,092,057	147%	
	受取助成金等	4,917,685	93%	
	事業収益	1. コンサル事業収益	6,797,459	95%
		2. コミュニティ構築事業収益	730,080	101%
		3. 調査研究事業収益	100,000	588%
		4. 市民活動助成事業収益	83,000	93%
	その他収益	受取利息	73	155%
		雑収益	8,700	-
	経常収益計		14,068,054	85%
経常費用	事業費	人件費	5,847,456	121%
		諸謝金	1,408,000	40%
		会議費	98,634	262%
		支払手数料	31,771	100%
		旅費交通費	875,608	246%
		消耗品費	54,684	19%
		印刷製本費	26,492	204%
		交際費	106,157	175%
		租税公課	2,400	171%
		賃借料	152,957	305%
		通信運搬費	228,321	133%
		研修費	29,500	32%
		新聞図書費	48,739	103%
		諸会費	48,000	80%
		支払助成金	800,000	352%
		外注費	428,350	134%
		委託費	2,163,165	243%
		事業費計	12,350,234	112%
		管理費	1,564,436	107%
経常費用計	13,914,670	112%		
当期経常増減額		153,384	4%	
法人税/住民税/事業税		71,000	34%	
当期正味財産増減額		82,384	2%	
前期繰越正味財産額		6,998,725	227%	
次期繰越正味財産額		7,081,109	101%	

人件費

ほんの少しですが職員の基本給や時給を上げたこと、職員が新たに加わったことで増加となっています。

会議費/旅費交通費

前年に比べると対面が少しずつ増えてきたため、打ち合わせの際の費用や旅費が増えています。

賃借料

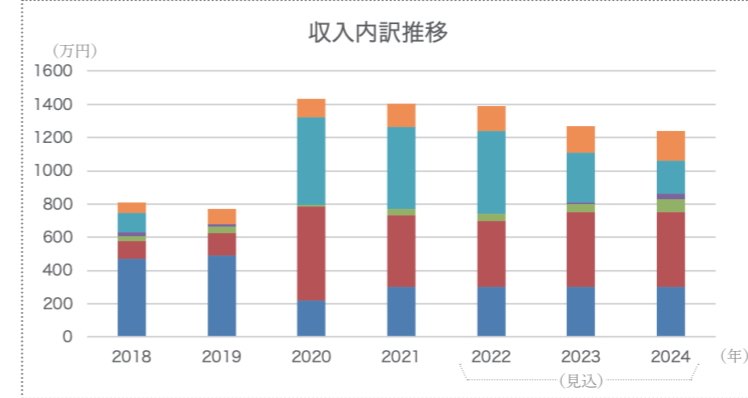
前年同様、オンラインセミナー用にネットワーク回線の強い会議室を借りたことに加え、対面でのセミナーも行うことができたので、それら会議室の利用料も発生し増えています。

支払助成金

額が増えたのは「想いと向き合う」助成の採択団体数を増やし、「数字と向き合う」助成の助成額を増やしたためです。

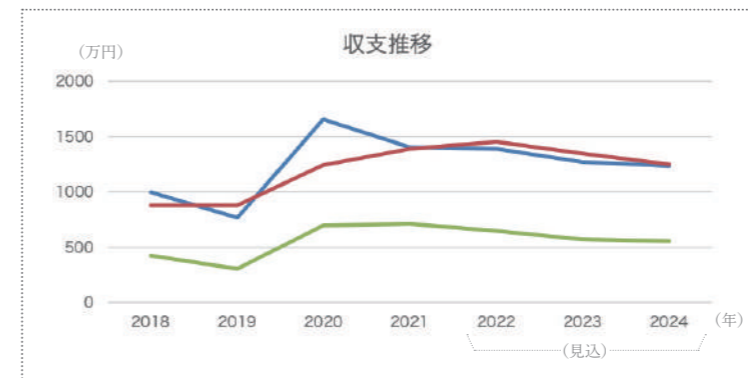
委託費

助成金を活用した「ふりかえり評価」のメンバーの経費等を委託費で処理しているため大きくなっています。



収入の総額よりもどこからお金が入っているかを重視。それにより組織の文化や価値観に影響を受けると考え、市民・生活者に近いところと接点を増やしたいと考えています。

- 会費・寄付
- 助成金・補助金
- 一般市民
- 企業・大学
- 国・行政
- NPO



営利企業のように、右肩上がりの拡大を前提にするのではなく、一定の経済的余力を担保しながら、メンバーが健康的に楽しく活動を続けられる、持続性を重視します。

- 収入
- 支出
- 繰越金

貸借対照表（2022年3月31日現在）

資産の部			負債の部		
科目	金額（円）		科目	金額（円）	
流動資産	現金	121,105	流動負債	未払金	472,000
	普通預金	7,115,589		前受金	962,315
	未収金	1,357,260		預り金	7,530
	流動資産 合計	8,593,954		未払法人税等	71,000
			負債の部 合計 1,512,845		
正味財産の部					
			正味財産	前期繰越正味財産額	6,998,725
				当期正味財産増減額	82,384
				正味財産の部 合計	7,081,109
資産の部 合計		8,593,954	負債・正味財産の部 合計		8,593,954



# スタートアップトーク!

合言葉は

- 1) ぼちぼち
- 2) そこそこ
- 3) できるしこ

NPOで活動をするのは 社会課題解決のため? 価値創造のため? どちらでもあり、どちらでもない?

実際にインターンやボランティアなど様々な「幅」で関わる人たちの話を聞いて、ぼんやり考えるための時間『ふくおかNPOスタートアップトーク!』をオンラインで開催しました。

第1回から8回目となる最終夜まで、9〜10月のほぼ2ヶ月間毎週水曜日を走り抜き、速報レポートまで出すという企画。予想通り、なかなか大変でしたが、皆さんからのコメントに勇気づけられ、むしろ元気がなりながら、最後まで楽しく続けることができました。

各回、約20〜50名ほどの参加者が集まってくださり、合計でのべ260名ほどの参加者が。そして33名の方から中には複数回に渡り、15万4千円のご寄付を頂戴しました。深く感謝申し上げます。



全8回のレポートはこちらからご覧いただけます。



# 解決“しない”相談会

多くの人は、自分の悩みを友人・家族・恋人、あるいは、上司・同僚・先輩などに相談する際、「解決してほしい」「答えを出してほしい」と思っているのか? 実は、話を聞いてほしいだけ・参考として意見を聞いて、最後は自分で決めたい という方も多いのではないかと?

迷った時、実は欲しいのは「答え」ではなく、その話を聞いてくれる人や、投げ込める場所なのではないか。支援者ができることは、そういうことかもしれない。

そんな想いから立ち上げた企画「解決“しない”NPO相談会」は、毎月、最終月曜日の夜20時〜YouTubeライブの機能を使用し、進行役の永田が、皆さんからのお便りを読み上げ・コメントしてきました。



「解決しないNPO相談会」vol.4「情報共有」(アカツキ)



アーカイブはQRコードを読み取ってご覧ください。アカツキYouTubeチャンネルの登録をお願いします。

2022年8月1日でアカツキの法人認証から丸10年が経ちました。事業も増え、理事・職員も入れ替わるなど動きもありません。体幹をしっかりと鍛えておかなければ、すぐにぶれてしまいます。

日頃、運動をする際に私は、軸を保つことの大切さを感じています。けれども動きの中で軸を保つことは容易ではありません。体幹をしっかりと鍛えておかなければ、すぐにぶれてしまいます。

世の中が大きく変動する中、アカツキが変わらず、そして自分たちが大切にしたいことをより鮮明にして活動することができるのは、みなさんが鍛えられた体幹のような存在でいてくれているからかもしれません。理事・職員と一緒にアカツキを進めてくれる正会員。私たちのことを気にかけて応援してくれるサポーター会員。毎月心を寄せてくれるつきつきサポーター。みなさんのお顔を想像しながらこの文章を書くことができ、温かい気持ちになります。本当にありがとうございます! アカツキは、まず私たちがどうあるかを考え、これからもみなさんと一緒に向き合っていきます。



## 10周年を迎えて 雪松 直子 (アカツキ代表理事)



「私は」「私たちは」を  
問い直しました

兵士 美和子

6年間、監事という立場で関わらせていただき、ありがとうございます。

仮認定、特例認定から認定NPOへ、また代表理事の交代等、組織として新しい変化を遂げていくアカツキを傍で見せてもらう度に、私の中の価値観に問いを投げられているような刺激的な感覚を得てきました。この感覚を独り占めせず、また新たな風を入れることも役目かとも思い退任を決めた次第です。

今後もサポーターとして、一市民として、応援いたします。

## アカツキの仲間になってくださってありがとうございます(会員一覧)

- 【正会員】  
 宇都 龍志さん 小島 理絵さん 小淵 亮兵さん 鈴木 大空さん 多原 真美さん 野崎 大雅さん  
 池本 桂子さん 富永 沙和さん 古橋 範朗さん 大島 隆さん 稲月 ひかりさん 大庭 勇さん  
 原口 尚子さん 梅崎 友貴さん 加藤 健太さん 大倉 慶子さん 青井 玲奈さん 森田 義也さん  
 小池 達也さん 日隈 諒さん

- 【サポーター会員】  
 田邊 絵美様 栗田 将行様 中園 明日香様 山田 なな子様 坂崎 あゆみ様 増永 弘子様  
 相浦 圭太様 清水 隆哉様 鶴田 文隆様 宮田 智史様 渡邊 裕子様 河合 将生様  
 鹿野 翔様 白神 加奈子様 谷口 竜平様 池本 真一様 立花 祐平様 今村 晃章様  
 福留 裕一様 グロス 優依子様 友永 みなみ様 鳥居 亜佑美様 工藤 弥生様  
 上村 一隆様 仲西 浩一様 加留部 貴行様 兵士 美和子様 末本 晴香様 中牟田 政也様  
 岩永 真一様 牧園 祐也様 小島 美緒様 谷口 真実実様 安西 隆之介様 馬田 英樹様  
 吉良 幸生様 吉崎 謙作様 濱田 千夏様 栗原 裕子様 渡真利 紘一様 富士本 和博様  
 佐藤 智重様 久保匠様 多田 育美様 野田 匠利様 Huang powei 様

- 【つきつきサポーター】  
 野崎 大雅様 フィッシュ 明子様 青井 玲奈様 金子 雄一郎様 佐藤 直美様 津賀 高幸様  
 小森 耕太様 大橋 日出男様 佐藤 貴美様 藤本 正明様 高橋 あづさ様 陶山 恵子様  
 小島 理絵様 牛嶋 麻里子様 寺床 幸雄様 桜井 光様 渡司 陵太様 喜田 亮子様  
 牛島 恭子様 湯浅 美和様 中川 啓子様 大関 純平様 影山 知明様 北村 政記様  
 山中 祥子様 黒田 美穂様 渡辺 達彦様 橋原 真二様 松原 明様 大島 一晃様  
 田中美幸様 山諸 秀樹様 藤原 里紗様 尾中 美穂様 松添 卓夫様 山本 絵美様

(2022年7月末現在 氏名公開可の方のみ)

### AKBN みくじ

2022年5〜6月に実施した「おみくじ」型寄付キャンペーンです。69人の方にひいていただき、207,069円の資金をAKBNファンドの原資としてお預かりしました。

1. 赤吉

2. 赤吉

3. 赤吉

AKBN (アケボノ) 新年度みくじ2022

1回・1000円の寄付で、後にはつづいてくわがわが、くわがわがの言葉が届けます。